

企画展「新たに探る新潟市の遺跡 —縄文時代の平遺跡と古代の岡崎・道正遺跡—」(お知らせ)

文化財センターでは、9月3日(日)まで近年発掘調査をおこなった2遺跡の調査成果を紹介する企画展を開催しています。

秋葉区新津丘陵北部の^{たいら}平遺跡では縄文時代中期の初めに集落が成立します。その成立には角田山麓の集落との強い結びつきが考えられ、新潟県内におけるアスファルト利用の始まりを考える上で重要な資料や全長3.9cmのとても小さな土偶の発見などがありました。

江南区岡崎・道正^{おかざき どうしょう}遺跡では亀田砂丘の西側の続きが発見され、9世紀後半には砂丘上に倉庫群が建ち並んでいたことがわかりました。佐渡との交流を示す遺物も目立ちます。さらに能登の地名である^{はくい}「羽咋」と読める文字が土器に墨書きされたものが5点もあり、その意味するところが注目されます。

多くの方にご覧いただきたく、広報活動にご協力くださいますようお願いいたします。

企画展：「新たに探る新潟市の遺跡—縄文時代の平遺跡と古代の岡崎・道正遺跡—」

会期：開催中～9月3日(日)

開館時間：【平日】午前9時～午後5時 【土・日・祝日】午前10時～午後4時

休館日：毎週月曜日・7月18日(火)

会場：新潟市文化財センター(新潟市西区木場2748番地1)

観覧料：無料

担当者による講座と展示解説：

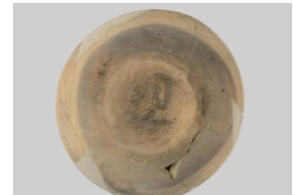
【5月20日(土)】平遺跡について 【6月24日(土)】岡崎・道正遺跡について
午後1時半～午後3時(申し込み不要)



アスファルトを溶かした土器



小形土偶(左)と壊れた土偶



「羽咋」の墨書

■問い合わせ

新潟市文化財センター 朝岡政康・前山精明・奈良佳子

新潟市西区木場 2748-1

電話 025-378-0480 (直通)

bunkazai@city.niigata.lg.jp

2023年度 新潟市文化財センター 企画展 1



新たに探る新潟市の遺跡

「縄文時代の平遺跡と古代の岡崎・道正遺跡」



観覧
無料

2023

4/25 ▶ 9/3 日

開館時間／平日 午前9時～午後5時

土・日・祝日 午前10時～午後4時

休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日、5月9日

秋葉区 ^{たいら} 平遺跡

平遺跡は、能代川に面した段丘上に立地する縄文時代中期・後期の集落跡です。2020年に行った発掘調査は113㎡と小規模なものでしたが、土器に混じる砂粒の入手場所や保管方法、アスファルトの利用時期について重要な発見がありました。



阿賀野川の砂を貯えた施設



中期初頭の
アスファルト
付着土器

江南区 ^{おかざき どうしょう} 岡崎・道正遺跡

現在は美田が広がる江南区割野地区に縄文時代から人々が活動した砂丘が埋もれていることが明らかになって5年。新潟中央環状線建設に伴う発掘調査の成果から、今回は器面の状態のよい多くの土器の観察を通して平安時代の人々の暮らしの実態を考えます。



佐渡から持ち込んだ？
煮炊き道具



調査区全景(近景) 北西→北東

企画展関連講座・
展示解説
※申し込み不要

会場はいずれも
新潟市文化財センター
研修室

5/20 ^土

午後1時半～午後3時

「縄文時代の平遺跡を探る」

講師/ 前山精明 (新潟市文化財センター学芸員)

6/24 ^土

午後1時半～午後3時

「いろいろな跡から考える新潟の平安時代」

講師/ 奈良佳子 (新潟市文化財センター文化財専門員)

お車で

新潟西バイパス亀貝インターから南へ約9分 (4.5km)
北陸自動車道黒埼スマートインターを北へ約6分 (2.9km)
JR 越後線 寺尾駅から車で約18分 (6.1km)

バスで

青山バス停発 新潟交通バスW80、81 味方・月潟線
・「木場川前バス停」から徒歩約30分
・「木場バス停」から徒歩約15分 (土・日・祝日連休)



主催・問い合わせ先

新潟市文化財センター

〒950-1122 新潟市西区木場2748-1

TEL 025-378-0480 FAX 025-378-0484

<https://www.city.niigata.lg.jp/kanko/bunka/rekishi/maibun/index.html>

